

荒川区政の「一丁目一番地」 震災対策・防災まちづくり

日本共産党荒川区議会議員団

横山幸次

区政報告
ニュース

650

2017年4月2日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
✉ arajcp@tcn-cat
v.ne.jp

町屋相談室

荒川区町屋5-3-5
3895-0504
✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッター
をご覧下さい。横山幸次
で検索して下さい。

道路拡幅だけでなく住宅耐震化など強力に 区独自で密集地域の実態調査と対策立案を

3月10日、荒川区土地開発公社評議員会が開催されました。そこでは、土地開発公社が小融資、また今後購入する土地、また区に売り払った土地などの資料が説明されました。

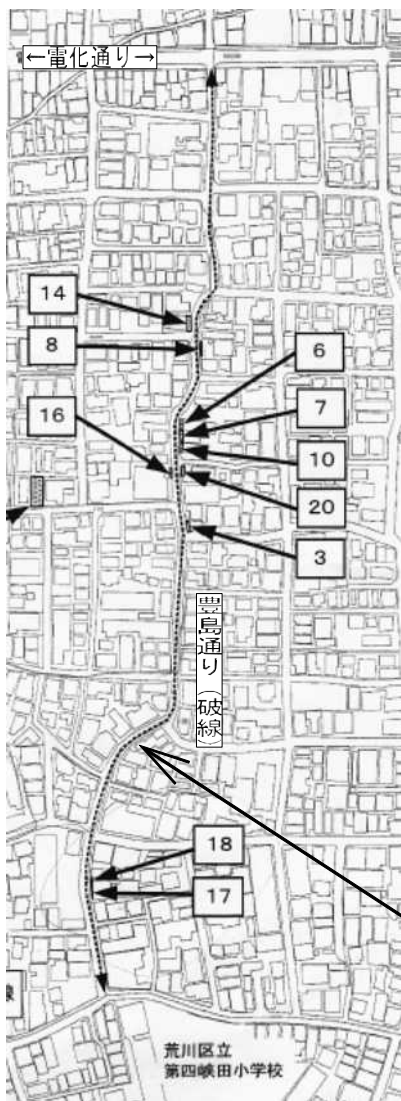
いつも関心を持つのが、町屋4丁目を中心にした危険度の高い木造密集市街地の整備がどう進んだかということです。

区は、豊島通りを重点にした主要生活道路の拡幅(6mへ)事業を進めています。道路拡幅には、測量、土地の購入や住宅店舗の建て替えなど必要になります。豊島通りでは、測量は57%、この後に建物調査となり

ます。全体の進捗状況は、28%程度です。今は建て替えなどが可能なところですが、今後は、狭小な宅地、借地やアパートなど借間のみなさんへの対応が大きな課題です。区は、町屋5丁目区民住宅に10戸従前

居住者住宅を確保してはいますが、単身世帯などへの対応はありません。そのため以下の取り組みを求めています。

住宅の確保と生活再建(公的住宅の確保含め)
公園など空地の確保と計画的な公共施設整備(ふれあい館など)



再生型の「再開発」を強力に推進(今の街並みなど生かす、コミュニティの維持しながら) 防火設備 深井戸の設置など 5年に一回の都の調査だけでなく区が独自に危険度の確認など行って具体的な対策に着手する時です。

地図数字は、取得した土地)

裏面 ゆいの森あらかわ
・図書館...など

定例法律相談会
4月3日(月)
午後6時~8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。
生活相談は、随時受付しています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627



銭湯の南側の壁には広いガラス窓も...下は、かつての清吉湯入口

今年の7月開園(60人定員)に向けて急ピッチです。年度途中で子どもを預けたいという保護者も少なくありません。少しでも願いの心えなければ、同時にこの保育園は園庭がありません。近くの稲荷神社や防災公園などを代用すると思いますが、安全や子どもにとって使いやすいものに改善を求めたいと思います。(横山幸次)

昨年10月に閉じた銭湯が保育園開園に向けて工事中
銭湯が消えたのは残念ですが新しい子どもの育ちの場になれば

今年も多くの待機児童が生まれましたが、残念です。保護者のみなさんはいままで大変な思いをされていることでしょう。そんな中、町屋2丁目の町屋区民事務所向かいにあった銭湯・旧清吉湯で保育園への改造工事が行われています。南側の壁には、出入りできそうな窓が取り付けられていました。入口の奥を覗くと廊下になる部分などの工事が目に入りました。どん

「ゆいの森」が開館…多くの課題があるようです



右・3階の一般図書
の書架
一般図書に出
会うには3階ま
で上ります。



上・ゆいの森建物全
景とパンフレット



左・子ども関係
の図書、右・5
階のコミュニティー
ラウンジ



中央図書館が本当に中心になっているのか？
「課題解決型」図書館としての機能は…

3月25日ゆいの森あらかわの開所式がありました。当日施設を見たのですが、やはり中央図書館としての役割が今後どう発揮されるのかいくつかの課題があるように感じました。

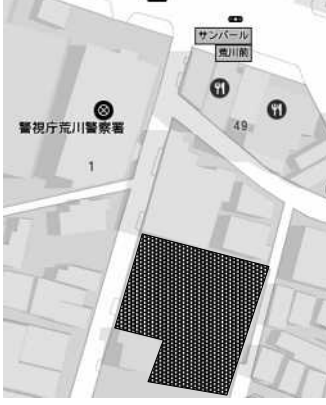
全体は、「吉村昭記念文学館」「3万冊の絵本館」に焦点が当てられていました。絵本は大事な図書館の要素です。同時に、1階のラウンジに入った時、私など「本の海」をイメージするのですが、図書館という雰囲気はあまり伝わって来ませんでした。

また所管する課も中央図書館と地域図書館（町屋、尾久、南千住、日暮里など）に分かれています。地域館を独自に位置付けたことは評価できません。以前図書館懇談会で大きな課題となってきた、課題解決型図書館、調べるもの、探しもの、お手伝い、するレファレンス機能がどうなるのか、今後区民のみなさんの声で役に立つ施設にしていかなければなりません。

フロア	主なサービス
1階	総合カウンター、絵本館、障害者サービスコーナー、乳幼児交流遊び場、相談室、託児室、カフェ
2階	10代向け図書ティーンズコーナー、小中学生を中心の学びラウンジ、児童書コーナー、吉村昭文学館
3階	小説・文庫本など一般書コーナー、芸術コーナー、現代俳句センター、雑誌・新聞コーナー
4階	専門書コーナー、調べもの支援・ビジネス支援などレファレンスカウンター、テラスなど
5階	学習室、コミュニティーラウンジなど

児童相談所設置にいち早く手を上げ土地を買ったが…

下網掛部分
荒川警察署の裏



児童虐待の増加など、児童相談所の体制強化が言われています。児童相談所は、都が実施していましたが、法改正で23区でも設置が可能になります。しかし、財源など含めてなにも明らかになっていません。そんな中、荒川区は区長の意向もあっていち早く手を上げ早速、土地を購入。しかし区議会の委員会で与党からも「財源」の裏付けについての質疑が行われました。国や東京都の財源含めた対応が必要です。

宿泊型産後ケアがスタート

以前は、生まれて一週間程度病院にいましたが、最近では産後4日、5日で退院。本来は産後の女性の体のダメージ回復のためには、1カ月ぐらいかかるものです。しかし、実際にはそうはいきません。産前はまだ健診など制度化されていますが、産後の女性の体のケアは自己責任、体のダメージを受け精神的にも不安定になる人も多いのです。

2013年2月本会議で共産党の同僚議員がこの問題を質問、今回宿泊型産後ケアとしてようやく実りました。荒川区でも初産で家族支援が得られない母子を対象にしてスタートします。

対象者
産後、家族等の援助が受けられない 区内在住で初めての出産 産後4か月までの母子

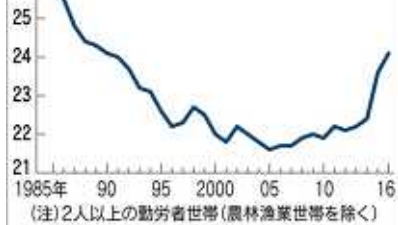
支援内容
授乳や沐浴の指導 乳房ケアなど母体管理 赤ちゃんの発育チェックやベビーマッサージ 母親の休養のための赤ちゃん一時預かり

実施期間
リバーサイト病院(南千住8丁目)
たんぼば助産院(南千住5丁目)

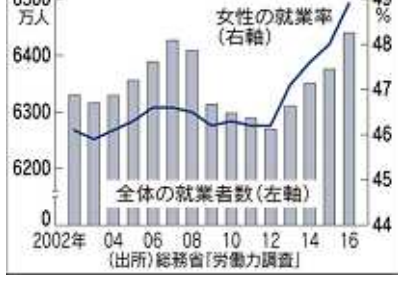
利用日数	利用料	自己負担(2割)	減免措置
1泊2日	60,000円	12,000円	非課税1/2減額 生保 全額免除
2泊3日	90,000円	18,000円	
3泊4日	120,000円	24,000円	

なぜ…エンゲル係数が29年ぶり高水準 物価値上げ、都も働き増加…？原因は

エンゲル係数は2010年代半ばに入り急上昇



女性の就業率は4年連続で上昇



この間ニュースなどでエンゲル係数の上昇が報道されています。かつて、エンゲル係数の上昇は、経済的な困窮との関係が言われていました。さて現在はどうでしょうか。

一つは、物価上昇があるでしょう。円安政策は輸出大企業ははるもつげ、実質賃金が下がりが続いている下で家計は打撃を受けています。働く女性の増加も原因と言われていますがもっとと分析が必要ですが、しかしこの間の消費税増税や「アベノミクス」なる経済政策に原因があるようです。やはり所得の再配分に大きな問題があるようです。